



あかぐり海釣り公園（おおい町）

おおい町大島は、リアス式海岸の先端のエリア。そんな絶好の釣り場に「あかぐり海釣り公園」があります。大自然に囲まれて船酔いもなく海釣り気分を味わえるので、初心者からベテランまでおすすめ！糸を垂らせば釣れる釣り堀とは違い、自然環境を逞しく生きる天然の魚たちとの対決が面白いと、全国の釣り人から注目されています。

INDEX

表紙	表紙 あかぐり海釣り公園
P2	すこやか講座 「本当にあった認知症と 間違えやすい病気」
P3	家族は今 「伴侶が認知症になって」
P4	THE病棟 「看護展」
P5	デイケア便り トピックス 「院内研究発表会」
P6	「就任あいさつ」
P7	「新人あいさつ」
P8	開院30周年記念講演会・研修案内

理 念

認知症高齢者の方々の人間的尊厳を尊重し、こころ温まる医療と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ① 認知症疾患の特性を踏まえ、一人ひとりに対する医療と温かみのある看護の提供
- ② 認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③ 地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④ 活き活きとした働きがいのある職場づくり
- ⑤ 職員一人ひとりが健全な病院運営を努力

患者様の権利に関する宣言

- ① 良質な医療を平等に受ける権利
- ② 選択および自己決定する権利
- ③ 意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利
- ④ 十分な説明を受ける権利
- ⑤ 個人情報およびプライバシーを保護される権利
- ⑥ 個人の尊厳を守る権利
- ⑦ 通信・面会を自由に行う権利

すこやか 講座



本当にあった

認知症と間違えやすい病気

このシリーズでは、物忘れを感じて当院に初めて受診に来られた方で、別の病気が認められた事例をご紹介します。物忘れがあっても、適切な治療を行うことで改善する場合があるという事例です。



正常圧水頭症

最近物忘れが気になり始め、ご家族と共に初めて受診に来られた80代の男性。検査室への案内時、歩行が不安定な様子があり、手すりにつかまりながら移動されていました。家族に自宅での様子を聞くと尿を漏らすことが増えたと話されます。頭部CTなどの検査を実施した所、正常圧水頭症の疑いがあり、脳神経外科に紹介となりました。

正常圧水頭症とは、脳の中央部や周りにある液体の脳脊髄液が増えて、脳を圧迫する病気です。症状として、歩きづらい、物忘れ、おしっこが漏れる、などが特徴的です。歩行障害が最も早期にみられる特徴的な症状とされています。症状が比較的ゆっくりと進行するため見落とされがちです。

原因ははっきりしておらず、お年寄りの方によく見られる場合や、頭を打つ大けがや、脳の血管が破れるくも膜下出血などの後に起こる場合もあります。

治療として、脳にたまった液体を体の別のスペースに流す管を入れる手術をします。

手術を行うことで、歩行状態が改善し、トイレの失敗も減ることがあります。

認知障害の症状が改善する可能性があることから、正常圧水頭症は「治療可能な認知症」として知られています。



現状では手術をすると、
認知障害や尿失禁は
半数ほどよくなっています。

次回
「うつ病」についてです



「伴侶が認知症になって」

M・M様のご家族

Betterhalfの夫が認知症と診断されて6年を迎えようとしています。

最初は網膜硬化症で手術を受けましたが、左目の視力が極端に落ち、家業のパソコン業務ができなくなりました。大好きだった車やバイクも手放し、行動範囲が狭くなって落ち込んでいたのですが、そのうち物忘れが多くなり、家にこもって人との交わりを拒むようになりました。

認知症と診断されたのは、70歳前でした。診断されてから2年ぐらいは穏やかで、「これなら介護の助けを借りながら、二人で仲良く助け合って暮らしていける」と思っていました。

しかし、徐々に症状が進み、言葉が荒くなりました。さらに、ひどい頭痛を訴え、イライラしたりと様々な症状が出てきて、私だけではお世話ができなくなりました。夫も私も精神的に追い詰められていくようでした。

私の腰の手術のため、施設に入所させていただきましたが、イライラが強くなり、すこやかシルバー病院に入院させていただきました。

当初は足元もおぼつかず、私との会話もままならず、目つきも怖いくらいで、あんたん暗澹たる*思いでした。

でも、病院の皆さんのおかげで、面会のたびに改善していく様子が分かり、夫も看護師さんを頼りにしているのが分かりました。近頃では笑顔も見えるようになり、うれしく思っています。きっと、夫に寄り添って接してくださっているのでしょう。本当に感謝しております。

今後もこの状態が続き、穏やかに過ごしながら私や息子たちと面会した時に、笑顔を見せてくれることを願ってやみません。

※Betterhalf…ベターハーフ、「配偶者」や「伴侶」

※暗澹たる……将来の見通しが立たず、全く希望が
もてないさま

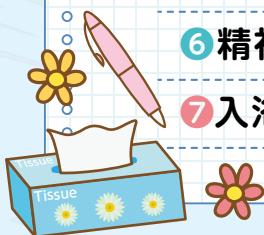
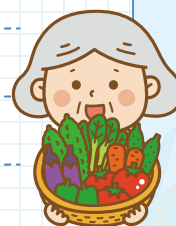


楽しく健康チェック♪ 看護展を開催しました！

看護展
催し物

6月13日(金) 場所：病院ロビー

- ①野菜摂取測定器ベジミル(約30秒で野菜摂取度を測定)
- ②骨密度測定器ほねウェーブ(手首で測定・骨のセルフチェック)
- ③災害時の対策(トイレ・スリッパ展示、作成、作成方法配布)
- ④介護相談
- ⑤栄養相談
- ⑥精神保健福祉士による制度などの相談
- ⑦入浴剤、ティッシュ、ボールペン配布などをしました。



今年も当院で看護展を開催しました。参加された方で好評だったのが、①野菜摂取測定器ベジミルでの野菜摂取測定です。良い結果が出た方で「野菜嫌いな主人に野菜ジュースを飲ませていたんだけど、それがよかったみたいで嬉しい」という意見や、逆に悪い結果が出た方で「野菜（もやしなど）を摂っていた意識はあったけど、緑黄色野菜など野菜の種類を見直そうと思う」という意見がありました。また、②骨密度測定器ほねウェーブでは、良い結果が出た方で「今後もウォーキングを頑張ろう」とさらに健康に対する意識が向上された方や、骨粗鬆症の治療をしている方で「良い結果で安心しました、今後も治療を続けます」と内服治療継続への意識が向上された方もいらっしゃいました。

午後からは認知症カフェ「心愛」とのコラボレーションで、さらに看護展が盛り上がりました。来年も皆様の「楽しめる♪」「為になる」企画を考えていきます！

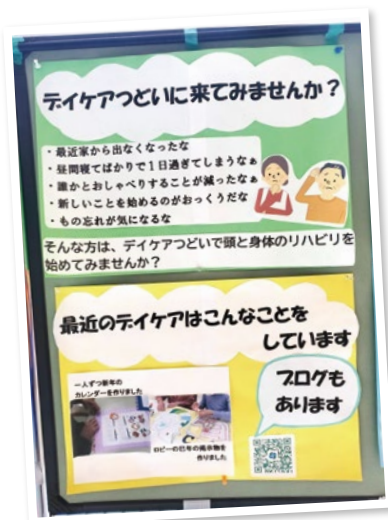


デイケアだより

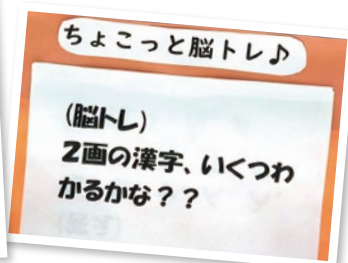
デイケアつどいで活動をご紹介します！

ロビーで発見！デイケアつどいの脳トレに挑戦しよう！

デイケアつどいに関する外来ロビーの掲示をリニューアルしました。1日の活動内容や季節行事の紹介をしています。また、デイケアの活動で実際に行われている脳トレ問題を、掲示しています。脳トレ問題は定期的に新しくしていく予定です、来院された際はチャレンジしてみてください。



月に1回更新する
ブログもありますので
是非ご覧ください。



トピックス

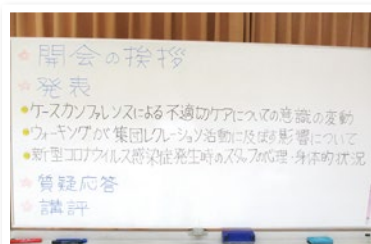
院内研究発表会

今年も5月23日に院内研究発表が行われました。演題は以下の通りです。

- ①東病棟 ケースカンファレンスによる不適切ケアについての意識の変容
- ②東病棟 ウォーキングが集団レクリエーション活動に及ぼす影響について
- ③西病棟 新型コロナウイルス感染症発生時のスタッフの心理・身体的状況



活発な質疑応答もあり、充実した研究発表となりました。今後も患者さんへのよりよいケアに繋がられるよう、またスタッフの働きやすい環境調整への取り組みを行っていききたいと思います。



就任挨拶



看護部 部長
ますだ なおよ
増田 直代

長きにわたり看護部を牽引してこられた高嶋看護部長よりバトンを受け取り、2025年4月より看護部長に就任いたしました増田直代と申します。

すこやかシルバー病院は平成7年に開院後今年で30周年を迎え、ますます地域の認知症高齢者医療環境づくりに貢献できるよう努力してまいります。また、当院で働く看護・介護職員に生き活きと働き続けてもらうために、看護・介護を通じ感性豊かな人間性を育み、成長していけるようサポートしていきます。そして患者さま一人一人の最善を考え、寄り添い、誠実な態度で接することを旨とし、患者さまに「心温まる看護・介護」を提供し続ける事を目指してまいります。入院中はもちろんですが、退院後も患者さま・ご家族さまが不安なく安心した生活が送れるよう他職種が連携し病院一丸となって支援してまいりますのでどうぞ今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



事務部 主事
たにぐち みずえ
谷口 瑞絵

令和7年4月より、事務部総務医療グループで勤務しております谷口瑞絵です。

これまでの6年間、非常勤職員として受付業務に携わってまいりましたが、このたびご縁をいただき、正職員として新たな一步を踏み出すこととなりました。

これまで培ってきた医療事務の経験を活かし、より一層成長できるよう努めてまいります。

まだまだ学ぶことも多くございますが、早く戦力となれるよう、責任感を持って日々の業務に取り組んでいく所存です。

また、病院の「顔」として、患者様やご家族様が安心してご来院いただけるよう、常に笑顔を絶やさず、思いやりの心を大切にされた接遇を心がけてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

はじめまして!!

新入職員紹介



看護部
み かみ たかゆき
三上 貴之

はじめまして。この度、令和7年4月より西病棟で看護師として勤務している三上貴之と申します。看護師になる前にはこちらの病院で看護補助のアルバイトとしてお世話になっておりました。看護師資格取得後は精神科病棟、消化器外科病棟、循環器内科病棟、手術室で看護師として経験してきました。今回ご縁もあって再びこちらの病院で働かせていただくことになりました。

これまでの看護師として勤務する中で多くの認知症の患者様と関わる機会がありましたが、1人1人訴えが異なったり、様々な症状に対してどのように関わるとよいのかと迷うこともありました。今回認知症専門の病院で勤務するにあたって認知症の知識を深め、個別性を尊重した看護を提供できるようになりたいと思います。そして、患者様とそのご家族が安心して過ごせるように精進していきたいと思います。よろしくお願い致します。



診療部 公認心理師
ふくい え まさと
福家 将統

令和7年4月より、公認心理師として勤務させていただくことになりました、福家将統と申します。新卒採用という事もあり、まだ右も左もわからない状況ですが、学生時代に培った知識や経験を活かして患者様に寄り添えるように尽力して参ります。まずは認知症や心理検査について学び、一人ひとりの患者様の状態を少しでも理解できるようになりたいと思っております。その上で患者様の思いを聴いたり、ご家族の思いを聴いたり心理職としての専門性を発揮し、当院の一員として認知症医療に貢献していければと思っております。今年はMCI予防に力を入れているということもあり、認知リハビリテーションといったMCI進行予防に効果的な技術の習得、提供にも力を入れていきます。どうぞよろしくお願い致します。

エムシーアイ
※M C I… MCIとは、軽度認知障害 (Mild Cognitive Impairment) の略で、認知症の一手手前の状態を指します。

入場無料

柴田理恵氏トークショー

親子の対話を大切に!

～遠距離介護の幸せなカタチ～



2025
9/28日

14:00~15:30
[受付開始/13:00]

場所

福井県生活学習館

ユー・アイふくい 多目的ホール

〒918-8135 福井市下六条町14-1

定員

500名 **要申込**

右記QRコード、またはお電話にてお申込みください



- 主催／(一財) 認知症高齢者医療介護教育センター 福井県立すこやかシルバー病院
- 後援／福井県・福井新聞・FBC・福井テレビ・FM福井・認知症のひとと家族の会福井県支部



認知症に関する研修実施中

受講料無料

●時間／13:30~15:00

当院では一般の方を対象に専門スタッフによる認知症予防や認知症ケアにまつわる様々な研修を行っております。物忘れが気になり始めた方、介護でのお悩みやお困りの方、お気軽にお申し込みください。

研修のお申込みは
右記QRコード、
またはお電話にて



9月までの申込



10月以降の申込

生活の質を高める環境づくり～認知症になっても在宅で暮らす工夫～

8/15金 10/24金

脳を鍛えて認知症を防ごう

8/19火 9/5金 10/3金 11/28金 ※14:20終了

認知症の方とのコミュニケーション

9/16火 10/28火 12/2火

心も体も元気に認知症を理解しリスクを下げよう

9/17水 11/12水

介護保険制度利用のポイント

9/18木 11/6木

認知症の進行段階別症状と対応

9/19金 12/16火

認知症の方が体験している現実とは

9/22月 10/31金 11/18火

レビー小体型認知症の方のケア

9/25木

認知症高齢者の排泄援助

9/2火

認知症の様々な症状に対するアプローチ

9/9火 10/7火 11/11火

ご不明な点や申し込みでお困りの方はお気軽に下記の電話番号よりお問い合わせください。



一般財団法人 認知症高齢者医療介護教育センター

福井県立すこやかシルバー病院 福井市島寺町93-6

tel.0776-98-2700